

1 二戸地域の農業データ

項	目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
農畜産物の販売額	※二戸農林振興センター調べ (百万円)	38,085	40,571	46,783	48,339	47,506	49,699	49,432
田畑耕地面積	※作物統計調査 (ha)	12,300	12,250	12,170	12,140	12,070	12,030	11,980
水稲作付面積	※作物統計調査 (ha)	1,990	2,011	1,888	1,582	1,594	1,578	1,672
りんご栽培面積	※県産果樹生産動態調査 (ha)	195	205	205	204	204	202	202
肉用牛飼養頭数	※県家畜飼養頭羽数調査 (頭)	11,455	8,539	9,329	9,697	9,688	9,286	8,683
乳用牛飼養頭数	※県家畜飼養頭羽数調査 (頭)	5,363	5,445	5,633	5,492	5,334	5,273	5,122
米販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	365	392	345	296	318	316	414
野菜販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	2,055	2,505	2,453	2,731	2,585	2,416	2,813
果樹販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	309	360	341	402	380	374	409
花き販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	435	406	385	362	339	313	358
葉たばこ販売額	※葉たばこ耕作組合調べ (百万円)	3,122	3,068	2,933	3,013	2,797	2,594	2,435
ホップ販売額	※北岩手ホップ生産組合調べ (百万円)	123	115	112	112	106	112	112
肉用牛販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	1,787	1,978	2,057	2,512	2,745	2,529	2,559
乳用牛(生乳)販売額	※JA新いわて調べ (百万円)	2,682	2,718	3,060	3,224	3,238	3,389	2,911
豚販売額	※県北広域振興局農政部調べ (百万円)	2,580	2,875	4,276	3,564	3,661	4,475	3,809
鶏販売額	※県北広域振興局農政部調べ (百万円)	22,821	23,733	29,599	30,904	30,117	32,865	33,328
うちブロイラー	(百万円)	22,810	23,724	29,599	30,904	30,117	32,865	33,328

2 二戸地域の農業振興計画等

(1) いわて県民計画 指標

項	目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
意欲ある多様な経営体の育成	新規就農者数							
	(人)							
	目標	20	20	20	20	20	20	20
	実績	20	20	23	25	22	21	22
農地の効率的利用の促進	水田整備面積							
	(累計・ha)							
	目標	1,231	1,251	1,291	1,275	1,282	1,296	1,309
	実績	1,231	1,240	1,269	1,275	1,300	1,321	1,321
畑地かんがい面積	目標	733	753	836	912	955	1,003	1,025
	(累計・ha)	実績	836	838	869	878	904	911
保全管理を行うダム数(基)		2	2	2	2	2	2	2

(2) 意欲ある多様な経営体の育成(平成30年度)

項	目	二戸市	軽米町	九戸村	一戸町	計
地域農業マスタープラン作成状況(地区)		7	10	3	13	33
認定農業者数(経営体数)		274	169	109	199	751

(3) 農山村の活性化(平成30年度)

項	目	二戸市	軽米町	九戸村	一戸町	計
中山間地域等直接支払制度協定集落数(地区)		40	32	7	14	93
多面的機能支払制度実施組織数(組織)		46	17	19	25	107
いわて農業農村活性化ビジョン策定(累計)		0	0	1	1	2

二戸地域農業の紹介



二戸市・軽米町・九戸村・一戸町

県北広域振興局農政部二戸農林振興センター
 県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室
 二戸農業改良普及センター



地域の概要

二戸地域は青森県と接する岩手県の最北端に位置しており、起伏に富んだ波状丘陵地帯となっている。
総面積の60%は標高200～300mの丘陵地帯であるが、西南部の奥中山高原は1,100m、北部の青森県境は70mとなっており、地域内での標高差が大きい。
年間平均気温は8～10℃前後で内陸性の気候のため寒暖の差が大きい。
また、年間降水量は約1,000mmと、県都盛岡と比べて少ない。

地域の農畜産物

農業の概要

耕地の70%が畑で、夏期冷涼な高標高地、日格差の大きい盆地といった多様な地域特性を活かした園芸が盛んであるとともに、県内トップのプロイラーをはじめとして、養豚、酪農、肉用牛等の畜産が盛んである。
また、古くから雑穀や葉たばこが生産されており、全国有数の産地となっている。

米



市場評価が高く複数年契約栽培の「いわてっこ」、冷めても美味しい低アミロース米の「きらほ」、酒造好適米の「ぎんおとめ」など、特徴ある米づくりに取り組んでいる。

レタス



一戸町奥中山高原は、**県内一の産地**で、**畑地かんがい**を活用した安定生産や**認証GAP**に取り組んでいる。
平成30年度の**系統販売額は、8.5億円**となった。

りんどう



九戸村、一戸町を中心に、盆・彼岸向けに栽培され、二戸地域で出荷数量、販売額が最も多い花きである。
平成30年度の**系統販売額は、2.8億円**となった。

乳用牛



飼養戸数は減少しているものの、一戸あたりの飼養頭数・乳量は増加傾向にある。
年間乳量1千トン以上の**酪農メガファームは、4戸**となっている。

きゅうり



二戸市を中心に栽培され、単収は県内で高水準である他、葉摘みヘルパーなど労働力確保対策にも取り組んでいる。
平成30年度の**系統販売額は、5.5億円**となった。

トマト



一戸町を中心に栽培され、長期安定出荷を目指し、既存ハウスでの環境制御技術の導入にも取り組んでいる。
平成30年度の**系統販売額は、2.9億円**となった。

葉たばこ



二戸市を中心に栽培され、栽培面積、生産量、販売額は県の約7割を占めている。
平成30年の**販売額は、24億円**となった。

プロイラー



管内**全市町村で約5,174万羽が生産**されており、全県の約44%を占める一大産地である。
平成30年の販売金額は333億円となり、管内農畜産物販売金額の67%を占める重要な産業である。

りんご



二戸市が約8割を占め、「はるか」の中でブランド基準を満たす「**冬恋(ふゆこい)**」は県内一の生産量である。平成30年の**系統販売額は、2.9億円**となった。

おうとう(さくらんぼ)



二戸市、一戸町を中心に栽培され、防霜対策や高温対策を徹底し、佐藤錦の中でブランド基準を満たす「**夏恋(かれん)**」は、甘く大玉でギフト用に利用されている。

雑穀



軽米町を中心に栽培され、**独自にブランド認証基準**を設けている。また、近年の高まる需要に応じるため、播種から乾燥調製までの**機械化一貫体系**に取り組んでいる。

産直



管内には、**19の産直施設**があり、季節の野菜、くだもの、雑穀のほか、しとねものなどの加工品が豊富に揃っている。また、9の産直施設で組織する**カシオペア産直施設連絡協議会**では、各種研修会を開催し、資質向上に努めている。